



経済産業省

Ministry of Economy, Trade and Industry

「医療の国際展開」に向けた 経済産業省の取組

平成27年12月11日

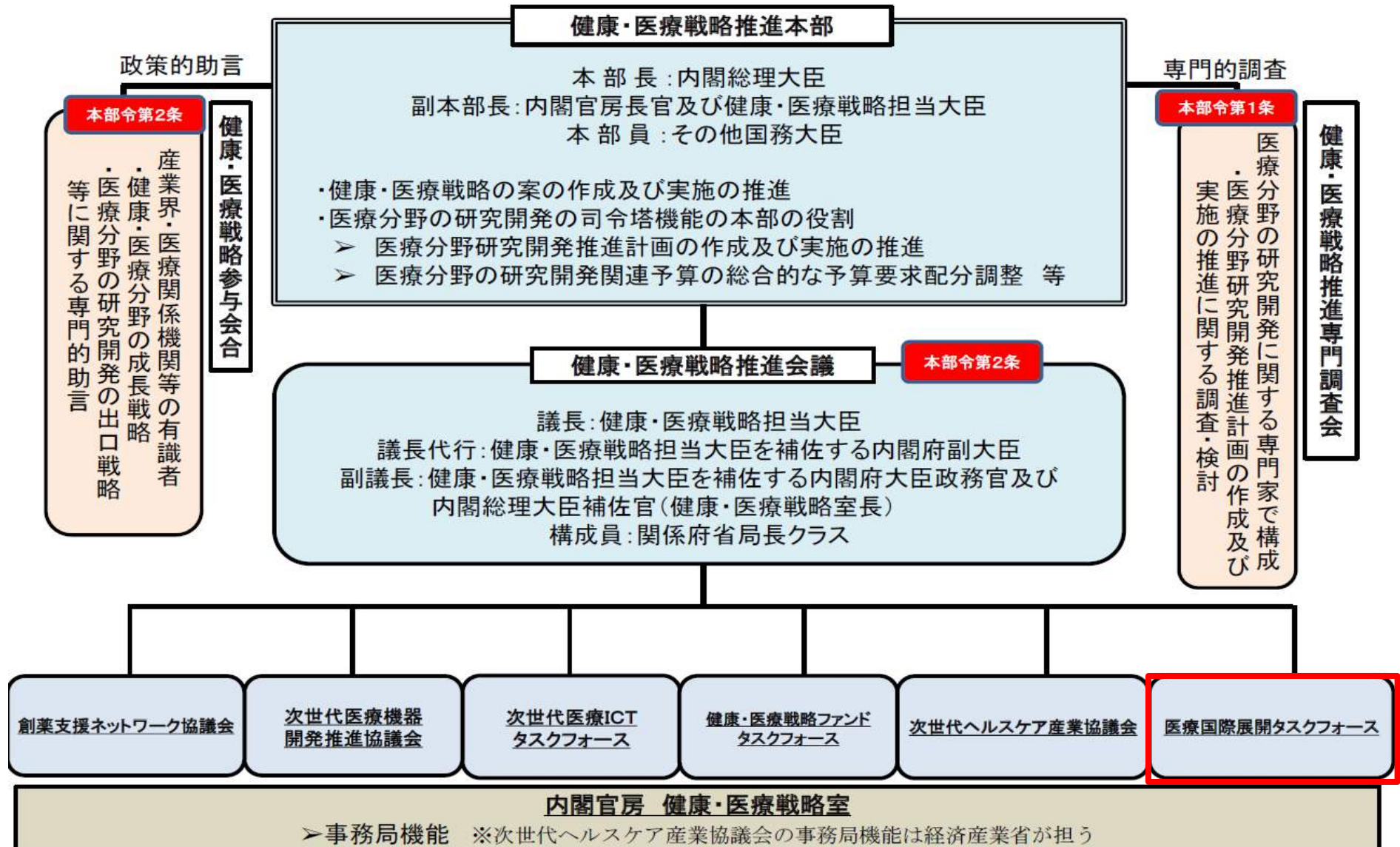
商務情報政策局ヘルスケア産業課

国際展開推進室長

笹子 宗一郎

健康・医療戦略推進本部と医療国際展開タスクフォース

○健康・医療戦略推進本部（本部長・内閣総理大臣）の下に「医療国際展開タスクフォース」を設置し、政府一体となって「医療の国際展開」を推進。



ヘルスケア分野の国際展開に関する基本的な考え方

○我が国の優れた機器・サービス等を提供することを通じ、

- ①各国が抱える社会課題の解決への**貢献を通じた我が国のプレゼンスの向上**、
- ②**拡大するヘルスケア分野の需要・市場の獲得**を図る。

○このため、特にがん・生活習慣病対策に効果が高い予防医療や診断等の分野を中心に高品質かつ高い信頼性を有する機器・サービスを各国のニーズに応じて提供（**アウトバウンド**）していくとともに、日本国内での診療を望む外国人患者の受入促進（**インバウンド**）に政府一体となって取り組んでいく。

日本

機器・サービス産業

「健康長寿社会」を支えるヘルスケア産業の創出

- ・医療機器、医療サービス
- ・健康関連サービス
- ...



現場を支える

新たな機器・サービスを育む

医療現場



外国人医師の受入研修の実施、外国人患者への高度な医療の提供

優れた機器・サービスの輸出

アウトバウンド

海外（主に新興国）

「健康長寿社会」を実現するために必要な医療機器・サービス/ヘルスケアサービスの提供

- ・診断/検診サービス等を提供する医療拠点の構築
- ・ティーチングホスピタルでの医療技能研修
- ・簡易検査等の健康/予防サービスの普及
- ...



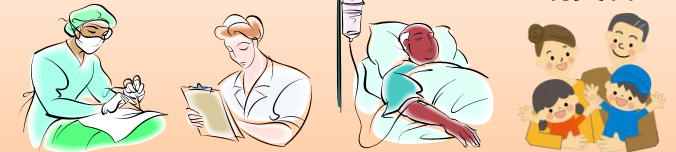
技能研修実施

サービス提供

医師・看護師等

患者

消費者



現地の医療水準の向上等の課題解決に貢献

日本での研修を希望する医師/現地で対応が困難な患者の送出

インバウンド

※外国人が安心して医療を受けられる環境整備は並行して実施。

日本再興戦略（抜粋）

「日本再興戦略」（平成25年6月14日閣議決定）（抄）

○医療の国際展開

一般社団法人メディカル・エクセレンス・ジャパン（MEJ）を活用し、官民一体となって、日本の医療技術・サービスの国際展開を推進する。

新興国を中心に日本の医療拠点について2020年までに10か所程度創設し、2030年までに5兆円の市場獲得を目指す。その際、国際保健外交戦略との連携、ODA、政策金融等の活用も図り、真に相手国の医療の発展に寄与する持続的な事業展開を産業界とともに実現する。

その実現に向け、上記の取組とともに、日本の良質な医療を普及する観点から、①相手国の実情に適した医療機器・医薬品、インフラ等の輸出等の促進、②外国人が安心して医療サービスを受けられる環境整備等に係る諸施策も着実に推進する。

「日本再興戦略」改訂2015（平成27年6月30日閣議決定）（抄）

○医療の国際展開（アウトバウンド・インバウンド）の促進

WHO等の国際的な組織とも連携しつつ、新興国・途上国等に対してアウトバウンドの基盤となる保健サービス・システムの強化を支援し、世界的な公衆衛生危機や高齢化・認知症等への取組に資する我が国の技術・知見の国際社会への発信及び官民連携を通じて栄養改善事業の国際展開の取組を推進する。

また、医療国際展開タスクフォースのインバウンド・ワーキンググループで策定した「医療渡航支援企業の認証及び渡航受診者受入医療機関の外国への情報発信に関する考え方」に基づき、**外国人患者受入れ等を一気通貫でサポートする企業の認証や、外国人患者の受入れに関し意欲と能力のある国内医療機関を「日本国際病院（仮称）」として海外にわかりやすい形で発信すること等を通じ、外国人患者に対しインバウンドに関する広報・集患に取り組む。**

※「改革2020」プロジェクトにおいても「高品質な日本式医療サービス・技術の国際展開」と位置付けられている。

MEJ (メディカル・エクセレンス・ジャパン)

○医療の国際展開の中核を担う一般社団法人として、平成23年10月に発足（会員数は45社）。

Medical Excellence JAPAN (MEJ) 理事長

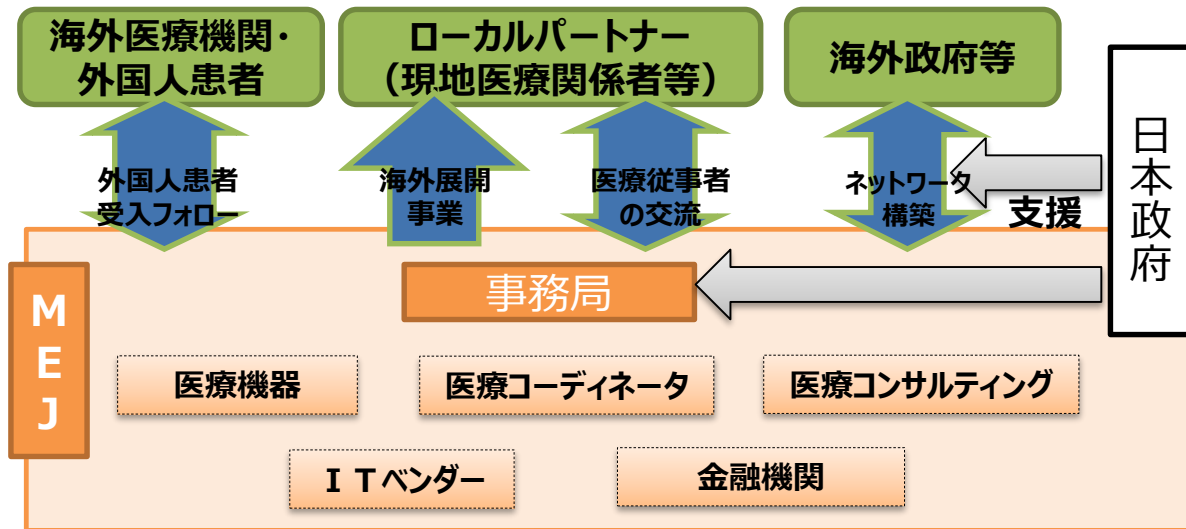


山本 修三 先生

日本病院会名誉会長
(株)日本病院共済会代表取締役
日本救急医学会名誉会員
日本外傷学会名誉会員
日本学術会議連携会員
日本病院会会長(2004-2010年)
慶應義塾大学医学部卒業(1959年)

会員企業(45社 平成27年12月1日時点 50音順)

アークレイ、アイテック、旭化成、アライドテレシス、
オリンパス、コニカミノルタ、CYBERDYNE、
サクラグローバルホールディングス、サン・フレア、
ジェイティービー、ジェイマックスシステム、シスメックス、
シップヘルスケアホールディングス、島津製作所、
住友重機械工業、ソニー、損害保険ジャパン日本興亜、
帝人ナカシマメディカル、帝人ファーマ、テラ、テルモ、
東海メディカルプロダクツ、東芝、東芝ツーリスト、
東芝メディカルシステムズ、
日本エマーゲンシーアシスタンス、日本光電工業、日本電気、
日本トリム、ハクゾウメディカル、パナソニックヘルスケア、光通信、
日立製作所、PSP、ピー・ジェー・エル、フクダ電子、
フジキンソフト、富士通、富士フイルム、みずほ銀行、
三井住友銀行、三菱電機、メディヴァ、メディアソリューション、
メディカルツーリズム・ジャパン



連携医療機関

がん治療

- 相澤病院
- 国立がん研究センター東病
- 順天堂大学医学部附属
- 順天堂医院呼吸器センター
- 筑波大学附属病院
- 慶應義塾大学病院 腫瘍
- 国立がん研究センター中央
- 放射線医学総合研究所
- 重粒子医学センター病院
- がん研究会有明病院
- 済生会横浜市東部病院
- 京都大学医学部附属病
- 院 放射線治療科
- ゲートタワーIGTクリニック
- 兵庫県立粒子線医療セン
- ター
- 北海道大学病院
- 山形大学医学部附属病
- 院
- 藤田保健衛生大学病院
- 近畿大学医学部附属病
- 院
- 千葉大学医学部附属病
- 院

がん治療/その他の治療全般

- 総合南東北病院
- 亀田メディカルセンター
- 福岡山王病院
- 筑波大学附属病院
- 国際医療福祉大学三田
- 病院
- 岡山大学病院

血液科/その他の治療全般

- 国立国際医療研究セン
- ター病院

消化器科

- 慶應義塾大学病院免疫
- 統括医療センター
- 昭和大学横浜市北部病
- 院消化器センター
- 神戸国際医療交流財団

消化器科/その他の治療全般

- 恵寿総合病院

循環器科

- 東京大学医学部附属病
- 院
- 金沢大学附属病院 心臓・
- 総合外科
- イムス葛飾ハートセンター
- 順天堂大学医学部附属
- 順天堂医院ハートセンター
- 榊原記念病院
- 心臓血管研究所附属病
- 院
- 北里研究所病院 循環器
- 内科
- 国立循環器病研究セン
- ター病院
- 大阪大学医学部附属病
- 心臓血管外科
- 小倉記念病院 循環器内
- 科

脳神経外科

- 森山記念病院附属福島
- 孝徳脳神経センター
- 北山病院
- 北原国際病院

小児科

- 国立成育医療研究セン
- ター
- 大阪府立母子保健総合
- 医療センター

産婦人科

- 山王病院

整形外科

- 東邦大学医療センター大
- 森病院 整形外科
- 岩井整形外科内科病院
- 帝京大学医学部附属病
- 院整形外科
- 横浜市立大学附属病院
- 整形外科
- 和歌山県立医科大学付
- 属病院整形外科
- 米盛病院

眼科

- 大阪大学医学部附属病
- 院 眼科
- 宮田眼科病院

歯科サービス

- 東北大学病院歯科部門
- 東京歯科大学千葉病院
- 東京医科歯科大学歯学
- 部附属病院
- 日本歯科大学附属病院
- 大阪大学歯学部附属病
- 院
- 大阪歯科大学附属病院
- 昭和大学歯科病院

健診・検診サービス

- 日本大学医学部総合健
- 診センター
- 北里大学北里研究所病
- 院
- 山王メディカルセンター
- 麻田総合病院
- 心臓画像クリニック飯田橋
- 中目黒消化器クリニック
- 日本医科大学検診医療セン
- ター

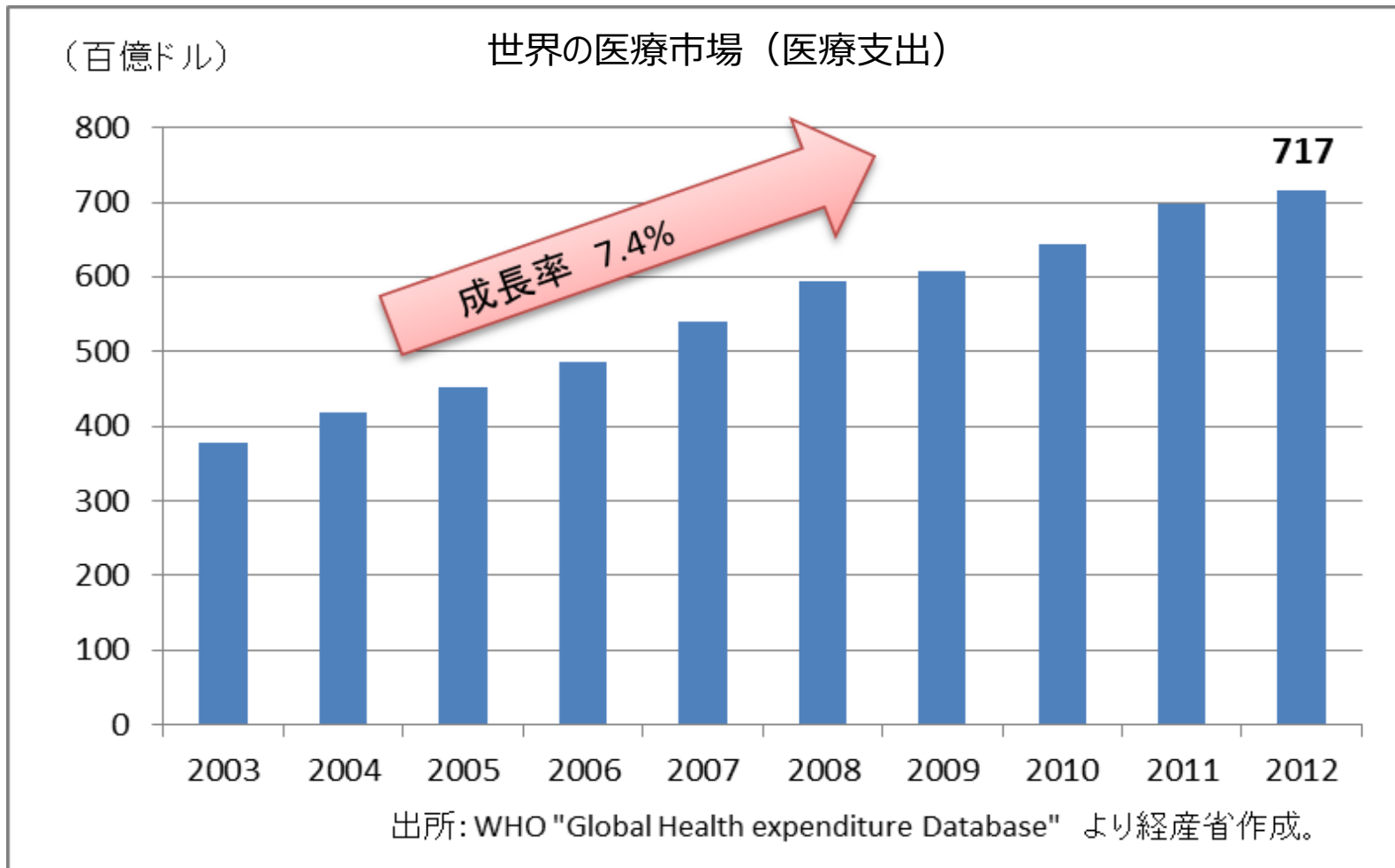
各種診療科

- 東京女子医科大学病院
- 東邦大学医療センター大
- 森病院

アウトバウンド

世界の医療市場（医療支出）の動向

- 世界の医療市場は、2003年から2012年まで**毎年平均7.4%で成長**（2012年には**約7.2兆ドル**）。
- 今後、世界の60歳以上人口は、現在の8.9億人から2050年には2.4億人に増加（「世界人口白書2011」）し、**医療ニーズが拡大**する見込み。

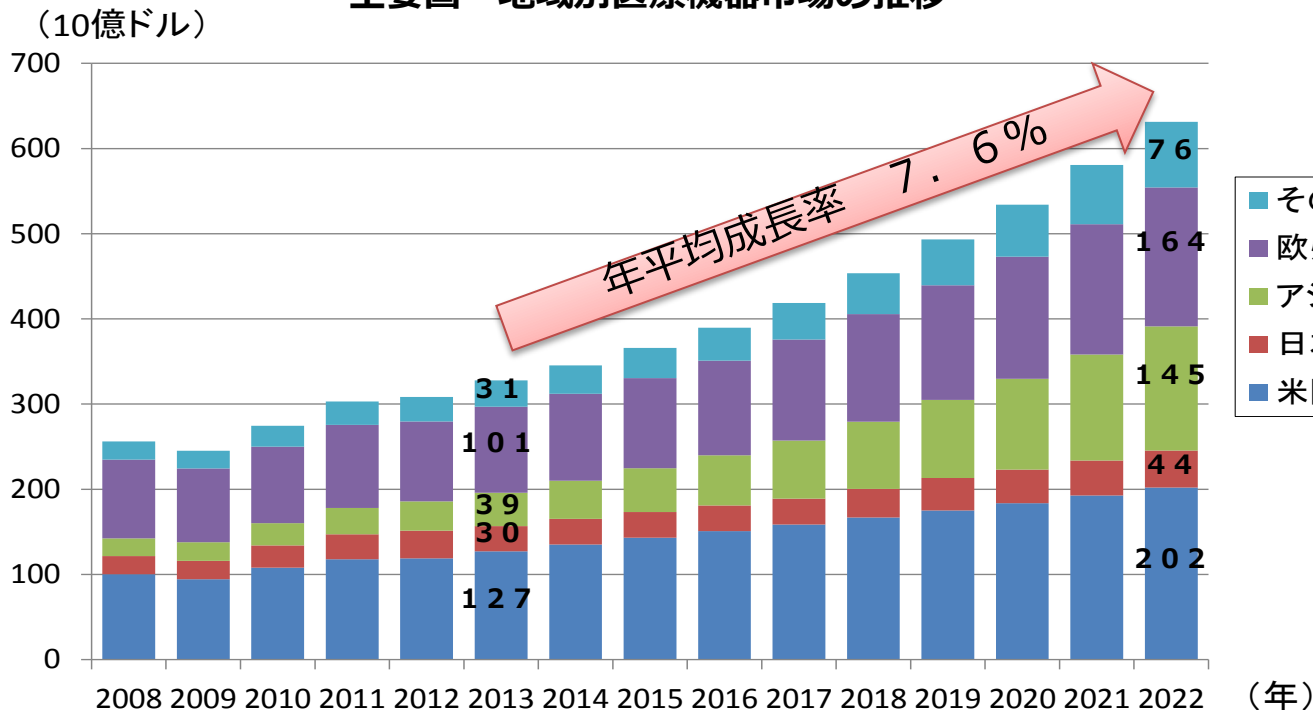


（※）WHOの統計が2012年までのデータのみ公表されているため、2012年までのデータを記載。

世界の医療機器市場の動向

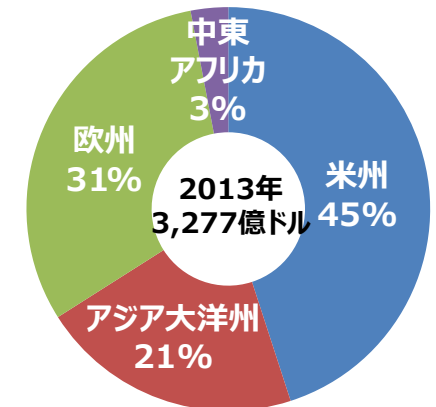
- 2013年の世界の医療機器市場は3300億ドル程度。主要国・地域別内訳では、米国（約1270億ドル）、欧州（約1010億ドル）の市場規模が大きい（日本は約300億ドル）。
- 高齢化や経済成長の進展により、良質な医療サービスへの需要は今後高まることが予想され、世界の医療機器市場も**2022年には6300億ドル以上**に拡大する見通し（2013年から年平均7.6%成長）。

主要国・地域別医療機器市場の推移

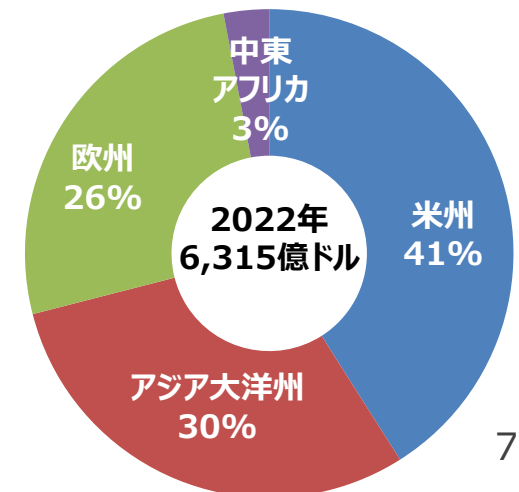


備考: Espicom推計。

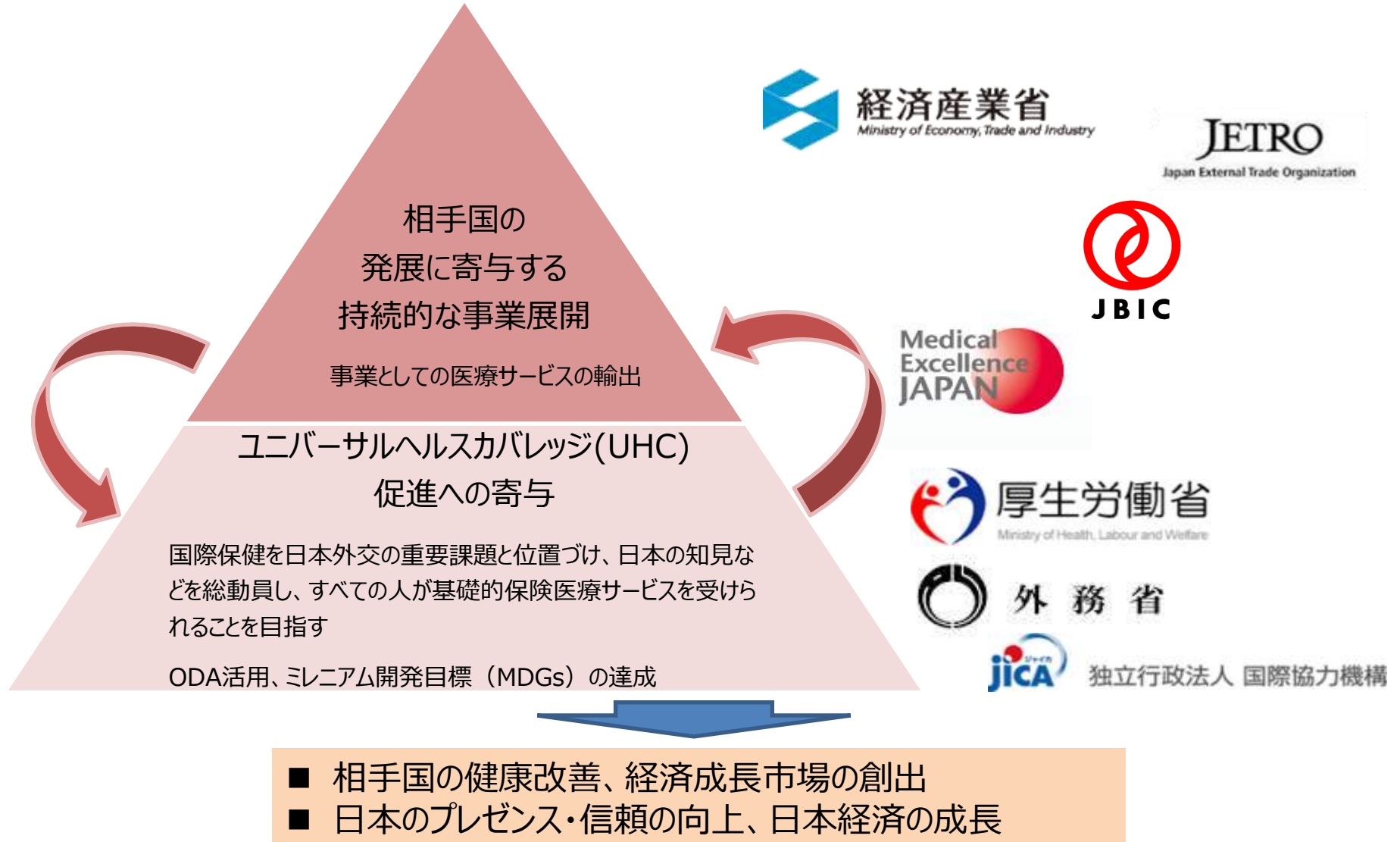
資料: Espicom「The World Medical Markets Fact Book 2013
(Medical Device Market, Total)」



約2倍



アウトバウンド推進のイメージ



アウトバウンド支援における経済産業省の役割

事業性調査

案件形成

事業化

調査事業を通じた支援（経済産業省）

病院と医療機器メーカー等によるコンソーシアムが、現地の事業環境制度調査や実証調査を通じ、事業性の検証・ビジネスモデルを構築

実証調査

- 現地に日本製医療機器・機材を持ち込みデモンストレーションを実施
- 日本人医師を現地に派遣し、日本製医療機器を用いた現地スタッフへのトレーニングを実施 等

事業化に向けた各種準備

- 事業計画/収支計画立案
- 現地事業パートナー選定
- 事業体制・運営体制の構築 等

【例：手術デモンストレーション】



資金調達面での支援

- 産業革新機構、J B I C 等による出資
- J I C Aによる融資 等

外交ツールを活用した支援

- O D Aによる現地保健・医療分野のインフラ整備

医師免許・薬事規制等制度面での障壁を解消